

「マイナビ 2023 年卒大学生 活動実態調査(4月)」を発表**2023 年卒業予定の大学生・大学院生の 4 月末時点の内々定率は 47.3%で、引き続き高水準
学業成績を採用活動に「利用してほしい」という学生は 67.9%**

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、2023 年卒業予定の全国の大学生、大学院生を対象に実施した、「マイナビ 2023 年卒大学生 活動実態調査（4月）」の結果を発表しました。（調査期間：2022 年 4 月 24 日～4 月 30 日）

《TOPICS》

- ◆ 2023 年卒業予定の大学生・大学院生の 4 月末時点の内々定率は 47.3%（前年比 6.4pt 増）【図 1、2、3】
- ◆ 大学での学業成績が「就職活動で評価された」と感じた学生は 17.7%。一方、学業成績を採用活動に「利用してほしい」という学生は 67.9%に【図 4、5、6】
- ◆ 一般的な会社員の給料の知識について、「額面と手取りの違い」は 8 割以上の学生が理解。一方、「年末調整」や「社会保険料」の仕組みの認知度は低い【図 7】
- ◆ あったら嬉しい福利厚生、1 位は「休暇制度（特別休暇、リフレッシュ休暇、介護・看護休暇など）」。「保養所」や「レクリエーション」などを希望する学生は少数【図 8】

【調査概要】

2023 年卒業予定の大学生・大学院生の 4 月末時点での内々定率は 47.3%（前年比 6.4pt 増）、平均内々定保有社数は 1.9 社（前年比 0.2 社増）となった。企業の採用意欲の高さなどに伴い、3 月に引き続き高い水準を維持している。「現在最も注力していること」を前月と比較すると、3 月では「エントリーシート提出」であったのに対し、4 月は「面接」が最多となっており、3 月から 4 月にかけて選考が進んでいる様子が見える。【図 1、2、3】

「就職活動で大学の成績が評価されたと感じるか」という質問に対し、「はい」と答えた学生は 17.7%であった。「学生の学業成績を企業が採用活動に用いるとしたら、どのように感じるか」という質問では「利用してほしい」が 67.9%（「大いに利用してほしい」と「どちらかという利用してほしい」の合計）で、理由として「学業に注力した点を評価して欲しい」や「コロナ禍によりガクチカを用意することができない分、努力を証明するものとして学業成績を用いて欲しい」などが挙げられた。学業への取り組みを評価してもらうことに対して、好意的にとらえている学生も多いようだ。【図 4、5、6】

一般的な会社員の給与について知っているものを聞いたところ、「額面の支給額から、税金と社会保険料などを差し引いたものが手取りとなる」を知っている学生は 87.8%だった。一方で、「民間の保険（生命保険、火災保険など）に加入して支払った保険料の一部は、年末調整で還付される」は 20.1%、「社会保険料は、3 月～5 月の給与等支給額によって決定される」は 12.9%と低く、給料に関する知識についてバラつきがあることがわかる。【図 7】

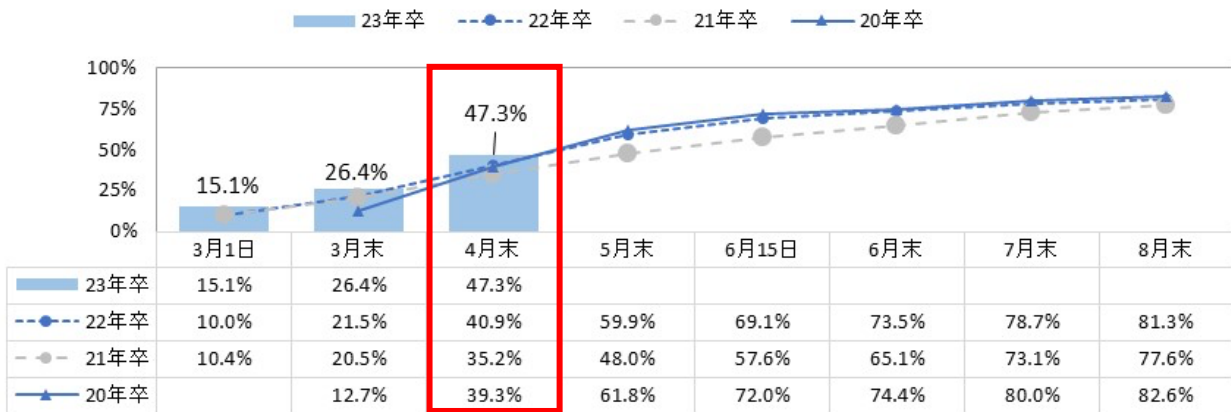
就職する企業にあったら嬉しい福利厚生について、最も多かったのは「休暇制度（特別休暇、リフレッシュ休暇、介護・看護休暇など）」で 81.0%だった。休暇などのワークライフバランスの充実や自身の生活の負担を一部軽減してくれるような、生活に密着する制度が上位に並んだ。一方で、「レクリエーション（社員旅行、懇親会、部活動、レジャー施設等の利用補助など）」や「保養所」など、従来の福利厚生のイメージとして定番の項目は比較的に低い数値となった。【図 8】

【調査担当者コメント】

4月末時点での内々定率は47.3%と、3月に引き続き前年比増で推移しています。選考を重ねるごとに、応募企業や仕事内容への理解度だけでなく、自分自身が将来やりたいことへの適性なども少しずつ見えてくるかと思しますので、学生の皆さんには、選考を企業との相互理解の場として上手に活かしてほしいです。また、会社員の給与の仕組みや福利厚生についての質問も行い、特に給与の知識については認知度にバラつきがあることもわかりました。給与や福利厚生も仕事内容と同様に入社後の自身の生活に関わることで、こうしたポイントの知識を身に付けていくことも、就職活動で自身が納得のいく1社を見つけるうえで重要なことではないかと考えます。

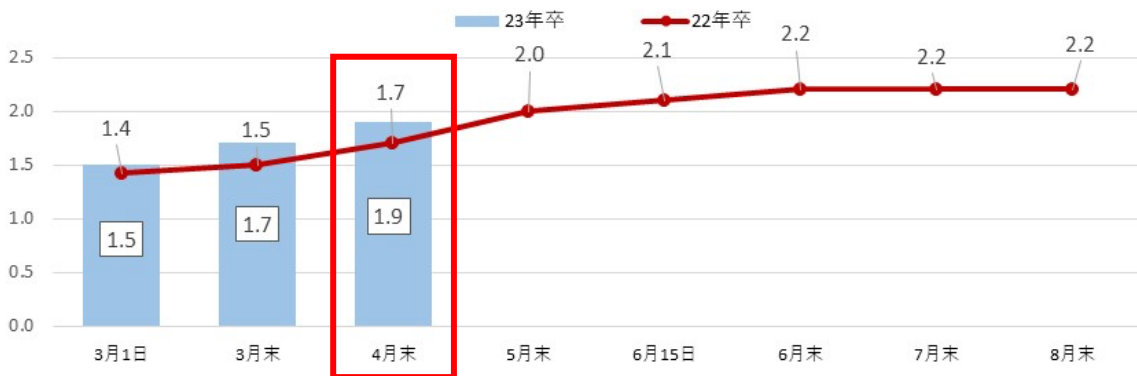
キャリアリサーチラボ 研究員 長谷川洋介

【図1】内々定保有率の推移

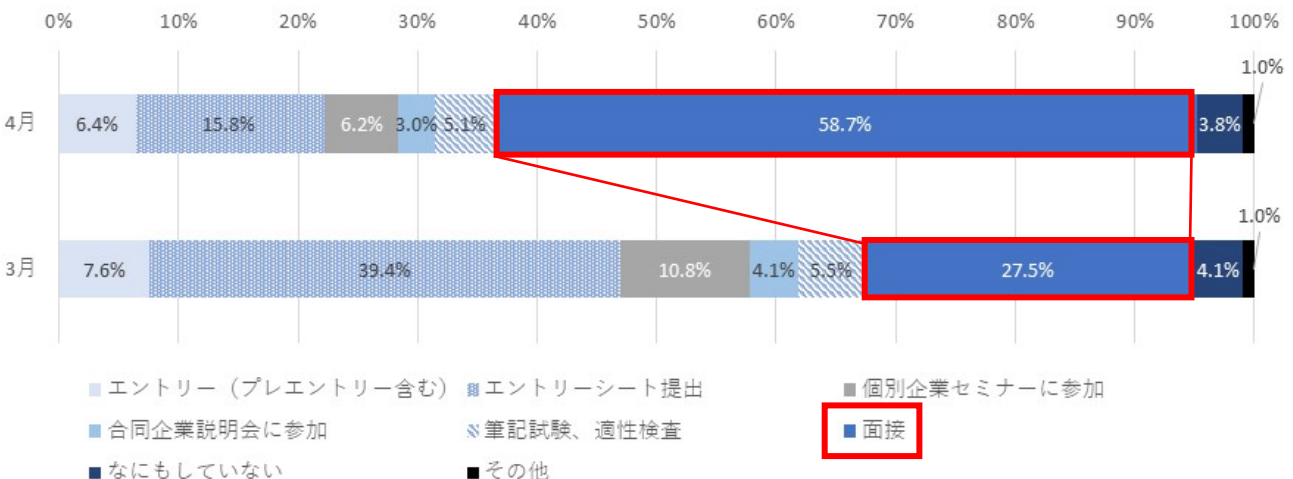


※3月1日時点の調査は、2021年卒で初めて実施

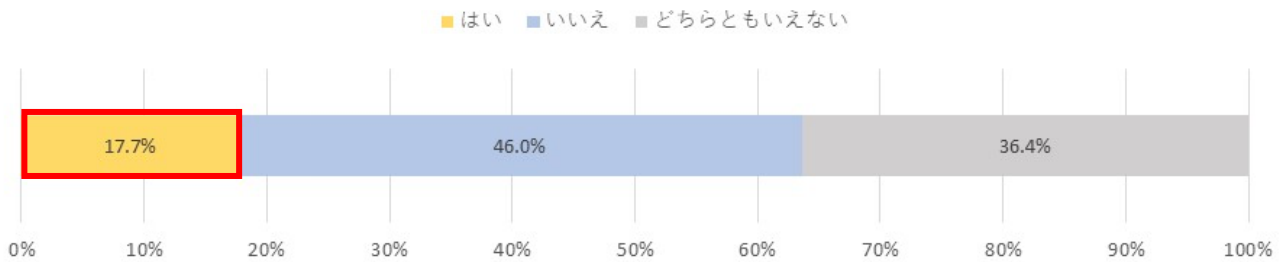
【図2】平均内々定保有社数



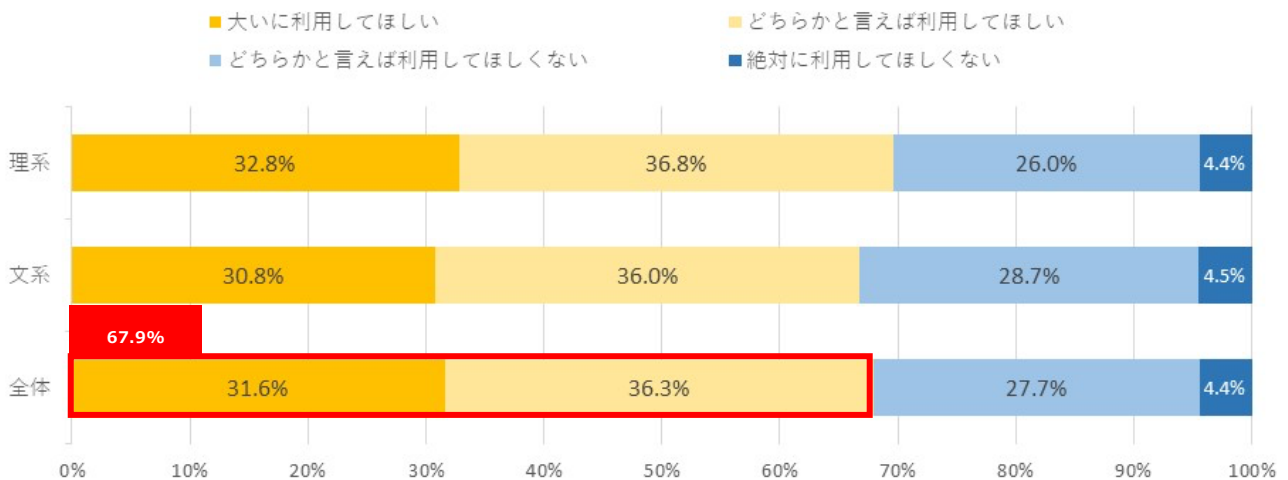
【図3】現在就職活動で最も注力して行っていること（前月比）



【図 4】 就職活動で大学の成績が評価されたと感じるか



【図 5】 学業成績を企業が採用活動に用いるとしたら、どのように感じるか



【図 6】 学業成績をなぜ利用してほしいか／利用してほしくないか（自由回答）

【大いに利用してほしい】

文系女子	大学内の活動やアルバイトなど、学力以外の力もちろん就活生を見る一つの指針であることはわかるが、成績も就活が今まで頑張ってきた証なので、しっかりを評価してほしいと思う。
文系女子	学力には自信があるから。
理系男子	大学での様子は面接だけではわからないから。
文系女子	学生の本業は勉強することであり、それを評価するのは妥当だと思うから。
理系男子	学生時代に頑張ってきたことに対して評価を得られるなら、日頃から積極的に学業に取り組むためのモチベーションが向上すると考えたためです。

【どちらかというど利用してほしい】

文系女子	学生生活の過ごし方を表す一つの指標であり、私自身学業に力を注いできたため、これまでの過程を評価して欲しいから。
理系男子	大学によって成績評価の基準等は異なるため公正な評価は難しいと思うが、突出して成績のよい学生に関してはある程度参考にできると考えているため。
理系女子	その場の面接や試験だけでなく、これまでの4年間の努力を評価して欲しい。コロナ禍でガクチカの題材が書きにくいからこそ、評価してもらえるものは多い方がいい。

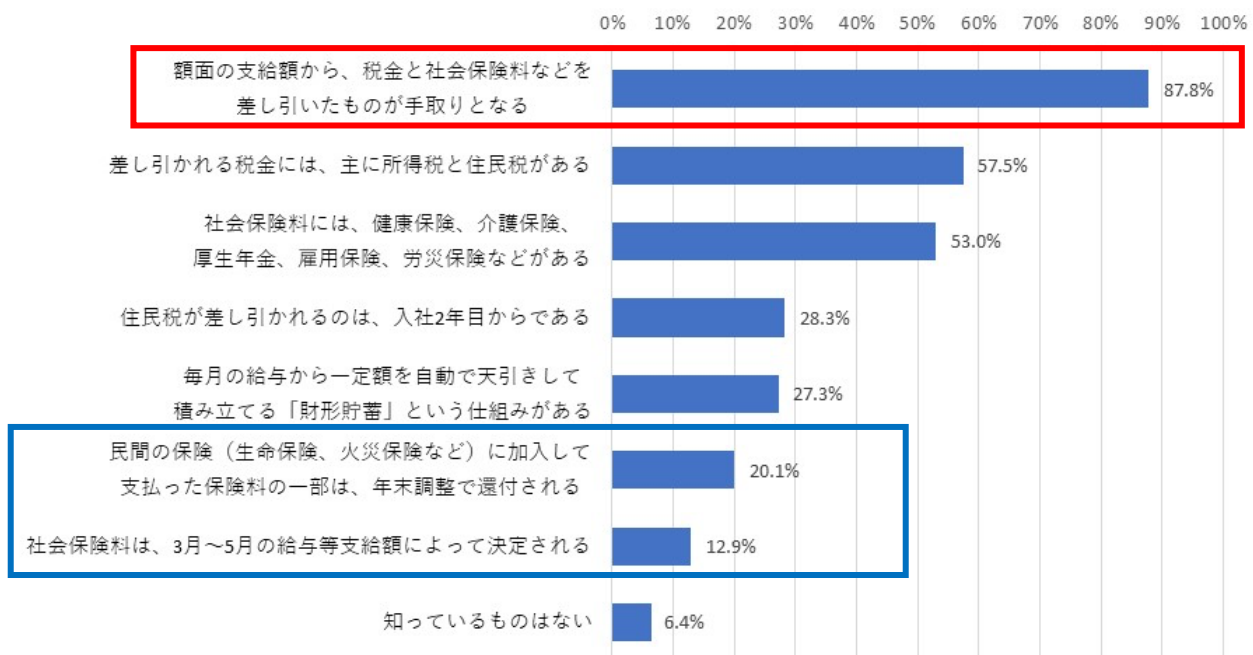
【どちらかというど利用してほしくない】

文系男子	成績ではなく人間性や潜在能力を見極めて欲しいため
理系女子	大学での勉強より学外の活動に力を入れてきたため。
文系男子	あまり好ましい成績ではない

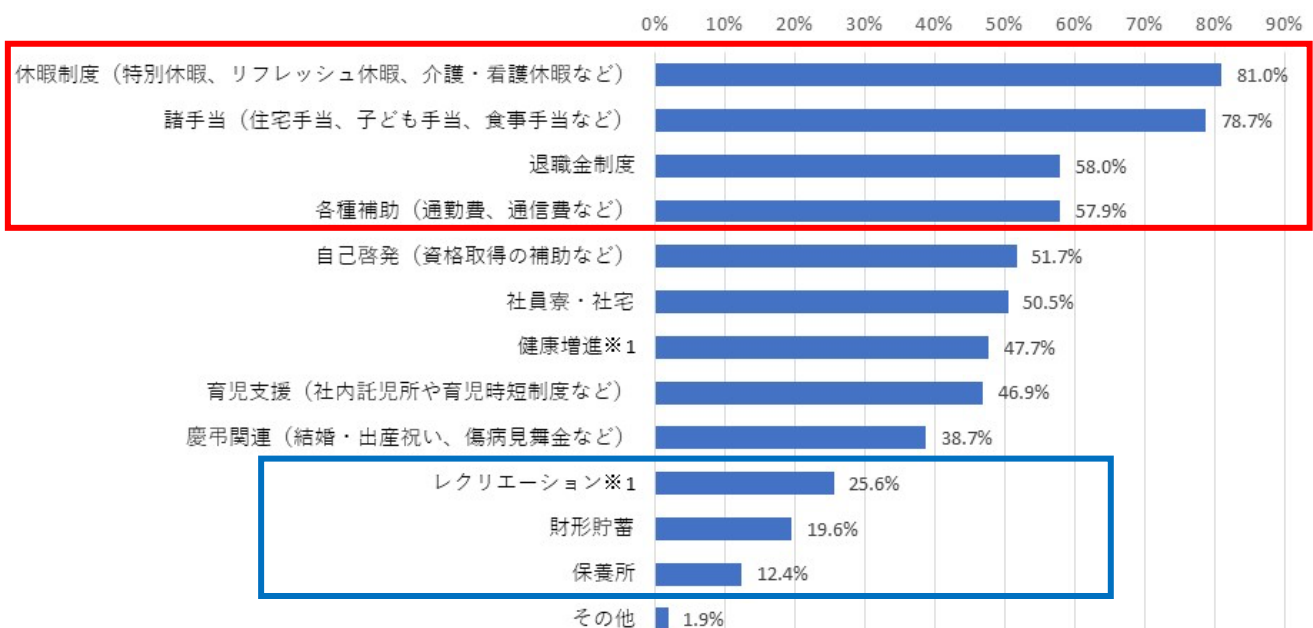
【絶対に利用してほしくない】

文系男子	大学の成績は必ずしも本人の能力に比例しないため。
理系女子	自由に活動できる大学生であるからこそ、学業以外のものに注力したから。
文系男子	学業と就活はジャンルが違っていると考えているため。
理系女子	成績のみで考えた場合、大学のレベルで相対的な評価が変わったり、勉強している内容は多いのに他の緩い大学と比べられても困るため

【図7】一般的な会社員の給与について知っているもの（複数回答）



【図8】「福利厚生」と聞いて、就職する企業にあったら嬉しいもの（複数回答／上位抜粋）



※1 人間ドック受診補助、インフルエンザ予防接種補助、企業内診療所など

※2 社員旅行、懇親会、部活動、レジャー施設等の利用補助など

【調査概要】「マイナビ 2023 年卒大学生 活動実態調査（4月）」

- 調査期間／2022年4月24日（日）～4月30日（土）
- 調査方法／マイナビ2023の会員に対するWEBアンケート
- 調査対象／2023年3月卒業見込みの全国の大学生、大学院生
- 有効回答数／5,483名（文系男子1,108名 理系男子865名 文系女子2,450名 理系女子1,060名）
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース（<https://www.mynavi.jp/news/>）からご確認ください。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
キャリアリサーチラボ 研究員 長谷川
Email : myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 広報部 石井
Email : koho@mynavi.jp